

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員



発行：2020年9月27日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

今こそ「自民党政治」の転換を!!

9月18日に四条烏丸で、日本共産党の街頭演説が行われました。安倍元首相が国民に追い詰められて政権を投げ出しました。菅新政権が破たんした安倍政治を継承する方針を打ち出しています。解散総選挙もあり得ると言われている中、穀田恵二・清水ただし・宮本たけしの各比例代表と小選挙区重複候補、2区（ちさか拓晃）4区（吉田幸一）小選挙区候補者とともに、日本共産党副委員長の田村智子参議院議員が訴えました。

「コロナでどれだけ多くの国民が困っているか。それなのに菅首相は自助ばかり。もう自助には限界が来ている。こんな時こそ公助が必要ではないですか」の訴えに通行人からも声援があがりました。西野市議は司会を務めました。

日本共産党が街頭から熱く訴え!!



府営住宅の指定管理では公的責任が果たせない

議員日誌

東急コミュニティと懇談

今年度4月1日から、小栗栖府営住宅の管理がこれまでの京都府住宅供給公社から、株式会社東急コミュニティーに変更になりました。府内では昨年までに36団地が「東急」に管理委託されています。

「東急」の無責任な対応次々

そこでは、落雷による断水には「マニュアルがない」と全く対応されないという大問題が起こっています。小栗栖府営西団地では、駐車場の管理をめぐって、「東急」の無責任な対応が問題となっています。住民の方々と馬場府議・西野市議が同席して、「東急」の責任者と話し合いを持ちました。

駐車場管理がこれまでどうされていたのかの引継ぎが府から全く無い上に「東急」も調査さえしない、行き当たりばったりの無責任な姿勢が明

らかになりました。駐車場管理契約に不備があり、府から指導を受けているため、契約の承認がまだであることも明らかになりました。

多額の駐車場管理委託料がどうなるのか、現状契約で本当に管理ができるのかも疑問です。

京都府は公的責任を果たせ

京都府が100%出資の住宅供給公社より5000万円も高額な委託料を支払って、株式会社に管理委託された結果の問題です。民間にできることは何でも民間にでは、住民の安心安全は守れません。公の責任こそが重要です。



議会
レポート

9月補正予算と2019年度決算案

9月市会に提案された補正予算の規模は、総額539億53百万円で内500億円は融資制度預託金です。後は中小企業IT活用支援事業や感染拡大防止と文化芸術活動両立支援などです。減額補正には、出前館を利用したデリバリーが予想を大きく下回ったものなどがあります。また、昨年度の決算も提案されました。一般会計の収入総額は7,728億23百万円。歳出総額は7,704億94百万円です。差し引き4億31百万円の黒字ではあっても、借金返済のための基金を50億円取り崩しています。一方で京都市は、納税義務者の所得が4万2千円増えて、景気は良くなったと言います。

しかし、市民の生活は消費税増税に加えてコロナ禍による深刻な影響があります。税金の使い方がこれでいいのか。市長の判断で思い切った支援策がなぜできないのか。日本共産党は18人の議員が各委員会で議論をしていきます。